

令和3年12月1日(水) 校内研究 話題提供授業と協議

5年生 体育科



5年生の体育科の学習では、校庭で「タグラグビー」を行いました。タグラグビーは、ボールを持っている児童のタグが相手に取られるまでゴールに走っていきゴール型のゲームです。タグを取られた児童は味方にパスをします。

タグは左右に一本ずつ着けます。先生から、タグを取るときはタグの真ん中付近を取るようにすることで、指のけがを防げる指導がありました。今日は、同じチームと2回試合をします。1回目の試合の後のチームタイムでは、試合に勝つために各チームでホワイトボードを使い作戦を立てたり、ホームグラウンドで作戦の練習をしたりしていました。先生が全チームの作戦を把握し、次の試合のためのアドバイスをして回ります。練習や試合で児童がよく動き、たくさん運動する時間が確保されていました。振り返りカードには、友達から教えてもらったことや作戦についてや自己の課題解決に向けて書かれていました。次の授業は、試合に勝つために、より作戦を意識し、試合だけでなく練習もしていきます。

今年度の協議会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、各教室に分散して協議会を実施しています。協議会后、スポーツ庁政策課 教科調査官 塩見 英樹 先生より、本日の授業の成果や課題についてなど、幅広くご指導いただきました。児童が「できるようになりたい。」「もっと運動したい。」と思えるような体育の授業を行っていき、今日の学びをこれからの指導に生かしていきたいと思います。